

---

第24回  
道路行政マネジメントを实践する栃木県会議  
事故(交通安全)対策関係

---

令和2年8月20日

# ○本日の会議における議事

## ■事故関連

1. これまでの会議の開催経緯
2. 栃木県内の事故発生状況
3. 幹線道路の事故対策(事故ゼロプラン)
  - (1) 事故ゼロプランの概要
  - (2) 対策の進捗状況報告
  - (3) 対策実施箇所の効果評価
    - ・【審議事項】効果評価結果(総合評価、中間評価)
4. 【情報提供】生活道路対策エリアの登録
5. 【情報提供】未就学児が日常的に集団で移動する経路等の交通安全の確保
6. 今後の事故対策実施方針

# 1. これまでの会議の開催経緯

●『道路行政マネジメントを实践する栃木県会議』は、交通渋滞と交通事故対策について、地域の皆さまや、様々な分野の方々からのご意見をお伺いし、道路施策に反映することを目的に、平成17年11月に設置



---

## 2. 栃木県内の事故発生状況

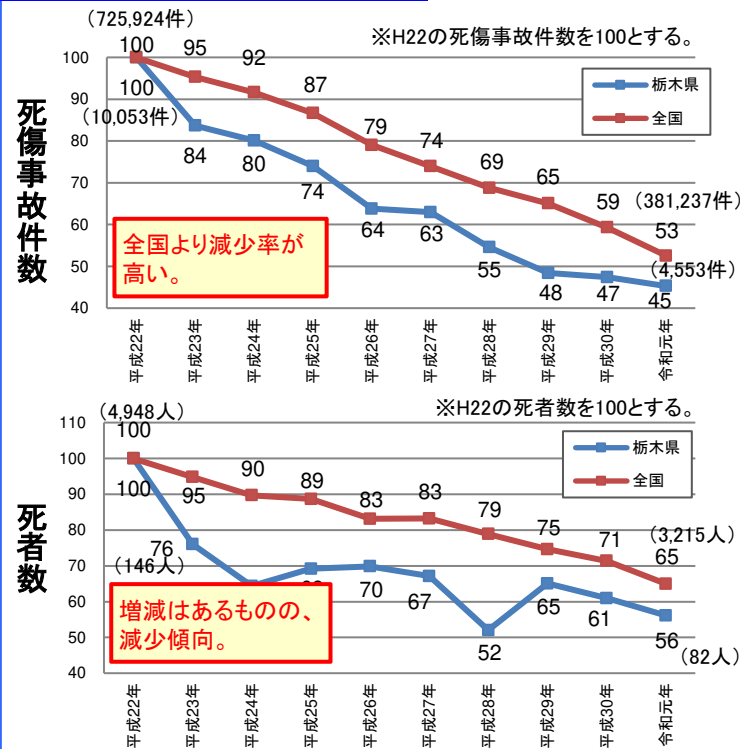
---

## 2. 栃木県内の事故発生状況

### 栃木県内の事故発生状況

- 栃木県の死傷事故件数は減少傾向であり、全国の傾向より減少率が高く、10年間で約5割(H22比)まで減少。死者数は増減はあるものの、全国と同様の減少傾向にあり、10年間で約5割(H22比)まで減少。
- 死傷者数を見ると、全国と比較して**自動車乗車中**の割合が高い。
- 事故類型別の割合を見ると、死傷事故は追突事故の割合が高く、全国と概ね同様の傾向。
- 死亡事故は人対車両が最も多く、全国と比べ**追突事故**、**出会い頭**の割合が高い。
- 栃木県の人口10万人あたりの死者数は4.21人(R1)で**全国ワースト5位**。

#### 死傷事故件数・死者数の推移

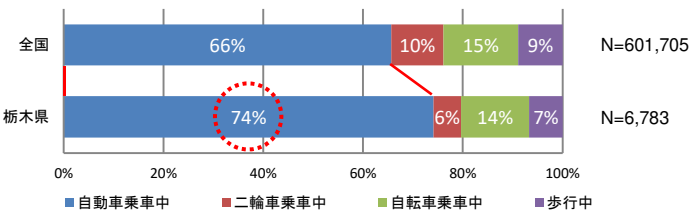


<出典> 交通事故統計年報(H27~30年版)、警察庁交通事故統計、栃木県警察HP

#### 死傷者数の状態別の割合

H27~H30(4年間の年平均)

##### 死傷者数

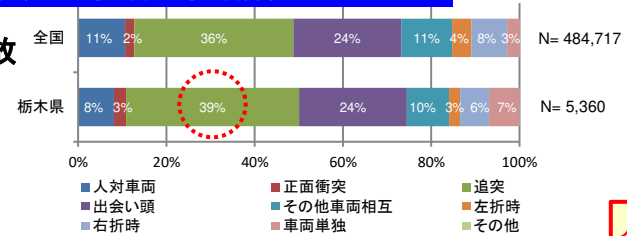


自動車乗車中の割合が多い。  
⇒自動車交通への依存度が高い交通状況が反映。

#### 死傷事故・死亡事故の事故類型別の割合

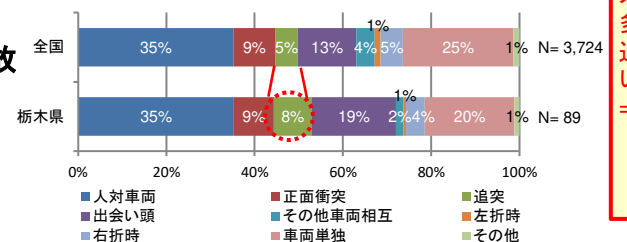
H27~H30(4年間の年平均)

##### 死傷事故件数



追突事故が最も多く、全国と概ね同様の傾向。

##### 死亡事故件数



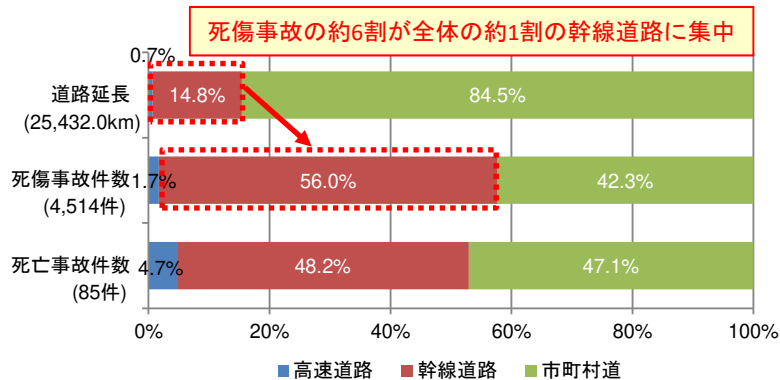
人対車両事故が最も多く、全国と比べて追突事故の割合が高い。  
⇒追突事故を事故ゼロプランの事故危険区間選定指標として設定済。

## 2. 栃木県内の事故発生状況

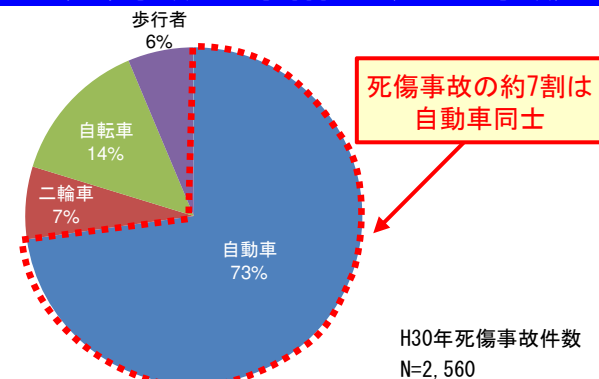
### 栃木県内の幹線道路※における事故発生特性 ※国道および県道

- 栃木県では、死傷事故の約6割が、道路延長の約1割の幹線道路に集中して発生している。
- 事故類型で見ると、**追突事故**が最も多く、全体の約5割を占めている。
- 当事者別で見ると、死傷事故では、**自動車**が最も多く、全体の約7割を占めている。
- 年齢別で見ると、25～64歳が約5割で最も多く、**高齢者**(65歳以上)の事故は約3割となっている。

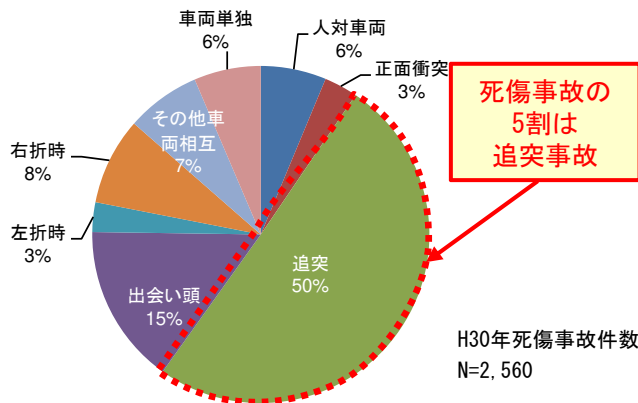
道路種別毎の交通事故発生状況 (H30年事故)



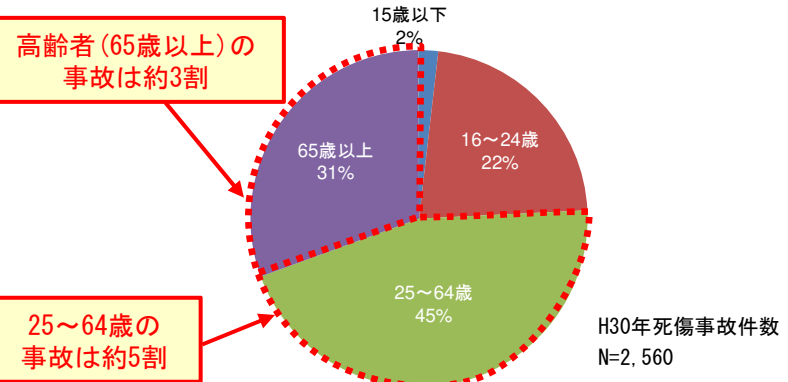
幹線道路における死傷事故の当事者種別 (H30年事故)



幹線道路における死傷事故の類型 (H30年事故)



幹線道路における死傷事故の年齢 (H30年事故)



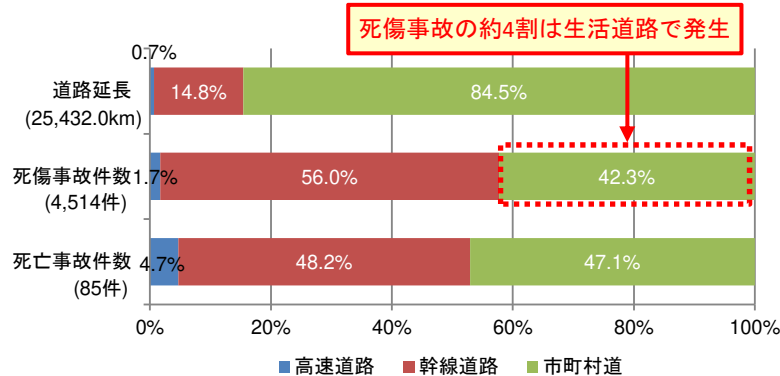
<出典> 交通事故統計年報(H30年版)、道路管理者別・交通事故分析データ(平成30年事故)全国、イタルダデータ(H30)

## 2. 栃木県内の事故発生状況

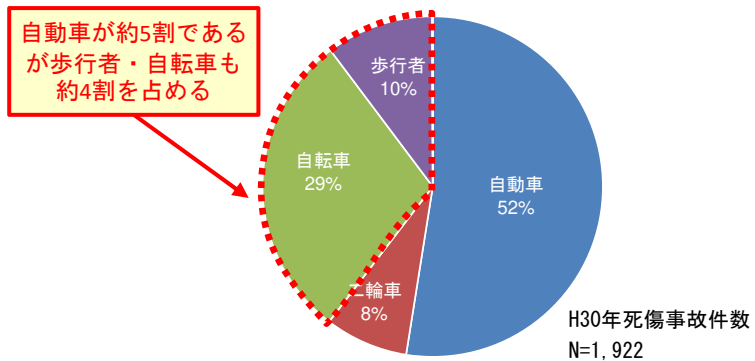
### 栃木県内の生活道路における事故発生特性

- 栃木県では、約4割の死傷事故が生活道路(市町村道)で発生している。
- 事故類型で見ると、**出会い頭事故**が最も高く、全体の約4割を占めている。
- 当事者別で見ると、自動車が約5割を占めているが、**自転車・歩行者**も約4割を占めている。
- 年齢別で見ると、**高齢者(65歳以上)**は約4割を占めており、25～64歳と並んで高くなっている。

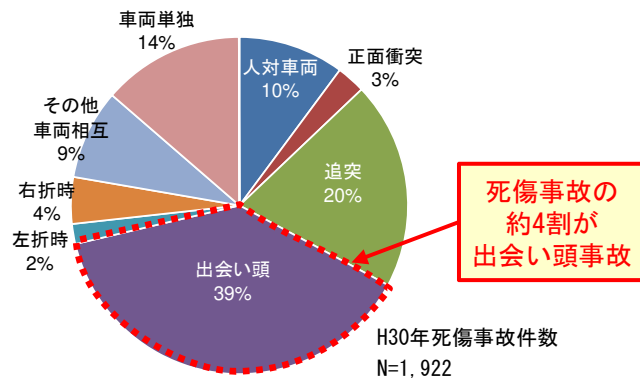
道路種別毎の交通事故発生状況 (H30年事故)



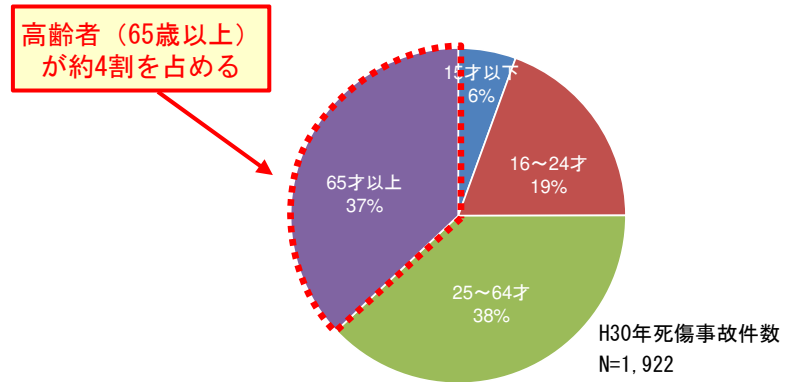
生活道路における死傷事故の当事者種別 (H30年事故)



生活道路における死傷事故の類型 (H30年事故)



生活道路における死傷事故の年齢 (H30年事故)



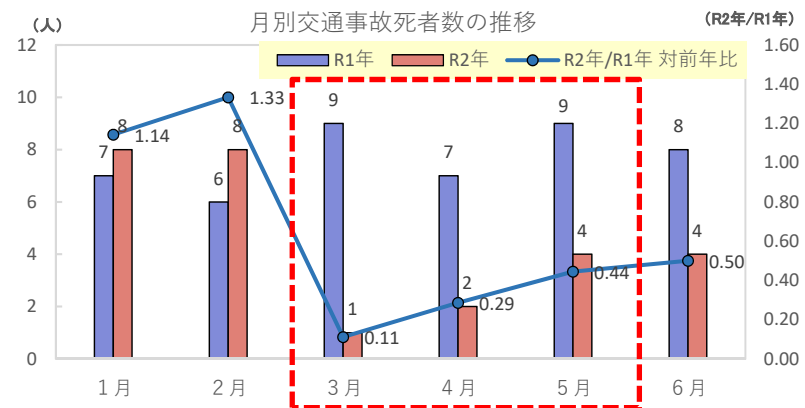
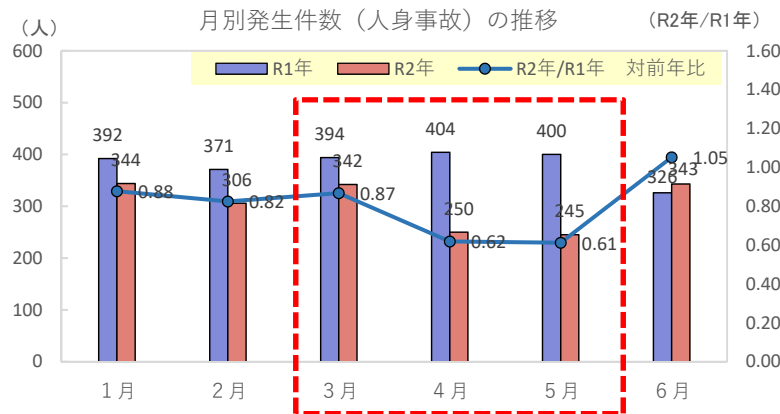
<出典> 交通事故統計年報 (H30年版)、道路管理者別・交通事故分析データ(平成30年事故)全国、イタルダデータ (H30)

## 2. 栃木県内の事故発生状況

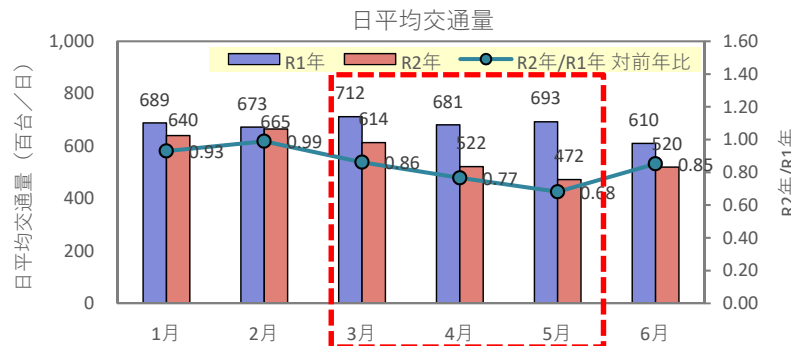
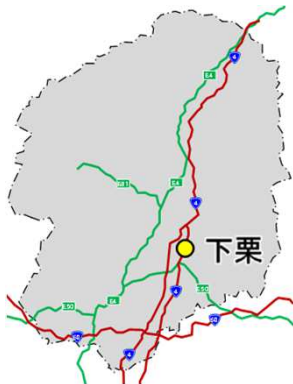
### コロナ禍による事故発生件数の推移

- 令和2年における月別事故発生件数は前年と比較し、1月～5月で減少、6月で増加している。
- 令和2年における月別交通事故死者数は前年と比較し、1月～2月で増加、3月～6月で減少している。
- 交通量は、緊急事態宣言以降の3月～5月で減少、6月は増加に転じ、事故発生件数と関連していることが想定される。
- 今後も引き続き、交通量と事故発生状況の推移を注視する。

#### 栃木県内の月別事故件数・死者数の推移



#### 月別平均交通量の推移(国道4号下栗交差点)



<出典>直轄トラカンデータ。全車計には、車種不明を含む

#### 新型コロナウイルス感染症の経過

2020.1.16	国内初の感染者を確認
2020.1.30	新型コロナウイルス感染症対策本部を設置
2020.2.17	全国の学校に休校を要請
2020.4.7	7都府県に緊急事態宣言を発令 ※東京、埼玉、神奈川、千葉、大阪、兵庫、福岡
2020.4.16	<b>全国に緊急事態宣言を発令</b>
2020.4.18	国内感染者1万人を突破
2020.5.14	<b>39県の緊急事態宣言を解除</b>
2020.5.25	<b>全国の緊急事態宣言を解除</b>
2020.6.19	都道府県境を跨ぐ移動自粛解除
2020.7.10	プロスポーツ等の入場制限を緩和



---

### 3. 幹線道路の事故対策（事故ゼロプラン）

(1) 事故ゼロプランの概要

(2) 対策の進捗状況報告

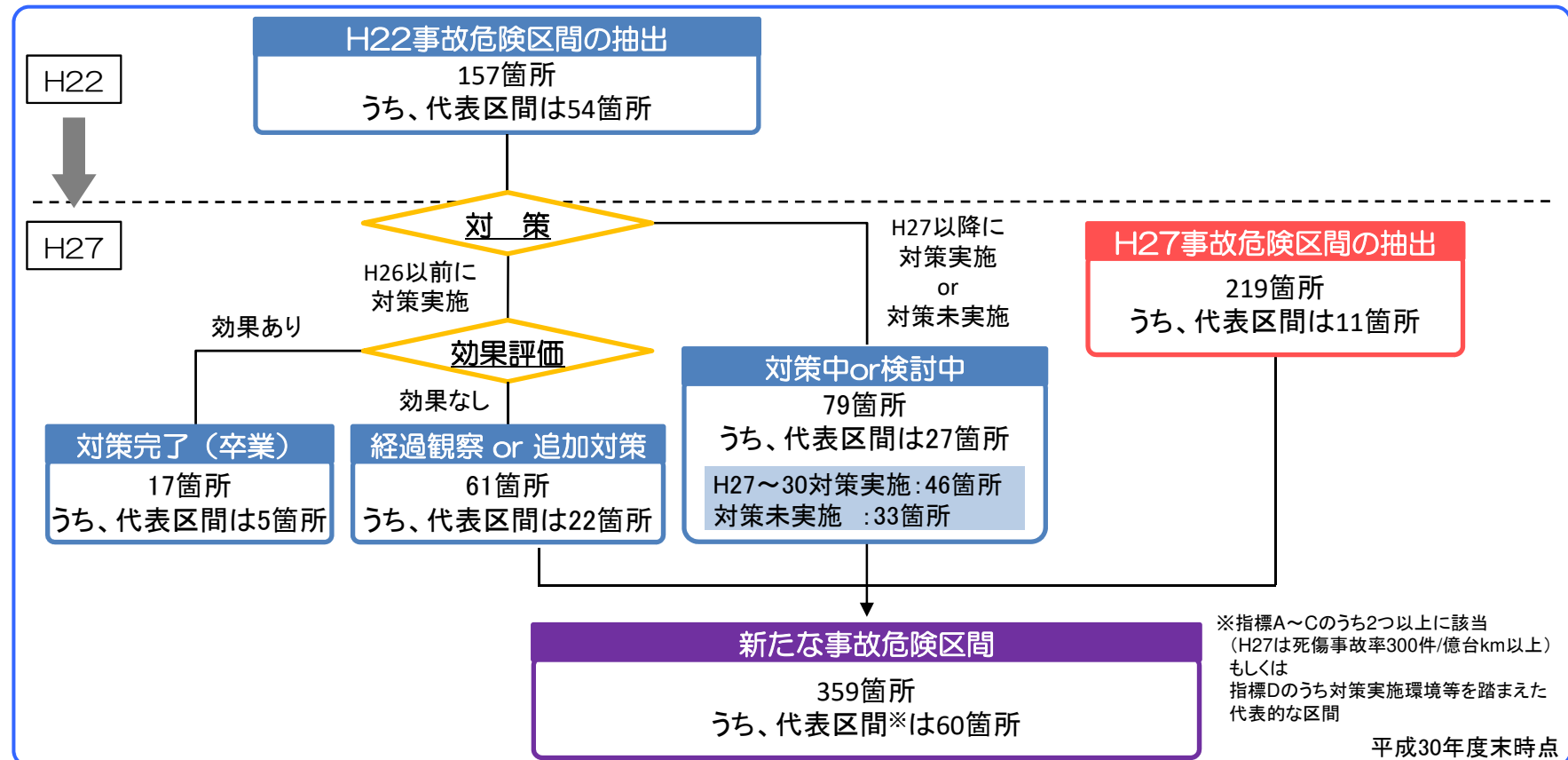
(3) 対策実施箇所の効果評価

---

### 3. (1) 事故ゼロプランの概要

#### 事故ゼロプランの取組みについて

- H22事故危険区間について、対策実施済み箇所の効果評価を行い、これまでに17箇所(うち、代表区間は5箇所)を「対策完了」と判定した。
- H27事故危険区間として、事故データや地域要望から219箇所(うち、代表区間は11箇所)を抽出した。
- 事故危険代表区間は、H22の54箇所とH27の11箇所を合わせて65箇所であるが、このうち、5箇所は「対策完了」と判定し、残る事故危険代表区間は60箇所である。



### 3. (1) 事故ゼロプランの概要

#### 事故危険区間の抽出基準について

●H27事故危険区間は、事故危険区間抽出時の抽出基準に対して、社会的な背景を考慮した**3つの指標を追加し**、対象箇所を抽出した。

指標区分	当初の基準(H22)	新たな基準(H27)
A. 事故多発区間	下記のいずれかに該当 ①死傷事故件数(5件/年以上) ②死傷事故率(300件/億台km以上) ※ただし、死傷事故件数2件/年以上の箇所が対象	下記のいずれかに該当 ①死傷事故件数(5件/年以上) ②死傷事故率(300件/億台km以上) <b>③事故危険箇所※1(指定箇所すべて)</b> ※ただし、死傷事故件数2件/年以上の箇所が対象
B. 死亡・重傷事故多発区間	下記のいずれかに該当 ③死者数(1人/2年以上) ④死亡・重傷事故件数(1件/2年以上) ※ただし、死傷事故件数2件/年以上の箇所が対象	下記のいずれかに該当 ④死者数(1人/2年以上) ⑤死亡・重傷事故件数(1件/2年以上) ※ただし、死傷事故件数2件/年以上の箇所が対象
C. 特徴的な区間	下記のうち、3項目以上に該当 ⑤夜間事故件数(3件/4年以上) ⑥歩行者・自転車事故件数(2件/4年以上) ⑦高齢者事故件数(2件/4年以上) ⑧追突事故件数(5件/4年以上) ⑨バリアフリー法の特定道路に該当 ※ただし、⑤～⑧は死傷事故件数2件/年以上の箇所が対象	<b>下記、⑥～⑩のうち、2指標に該当または⑪に該当</b> ⑥夜間事故件数(3件/4年以上) ⑦歩行者・自転車事故件数(2件/4年以上) ⑧高齢者事故件数(2件/4年以上) <b>⑨子供事故件数(1件/4年)</b> ⑩追突事故件数(5件/4年以上) <b>⑪逆走発生箇所(立体交差点)</b>
D. 安全性の危惧	⑩地域の声(通学路、危険性指摘箇所等) ⑪アンケートによる指摘箇所	⑫地域の声(通学路、危険性指摘箇所等) ⑬アンケートによる指摘箇所

【※1 事故危険箇所】  
都道府県公安委員会と道路管理者が以下の要件すべてに該当する箇所から選定  
・死傷事故率: 100件/億台km以上  
・重大事故率: 10件/億台km以上  
・死亡事故率: 1件/億台km以上

※赤文字: H27年度に新たな事故危険区間を抽出した際に追加・変更した基準

# 3. (2) 対策の進捗状況報告【報告事項】

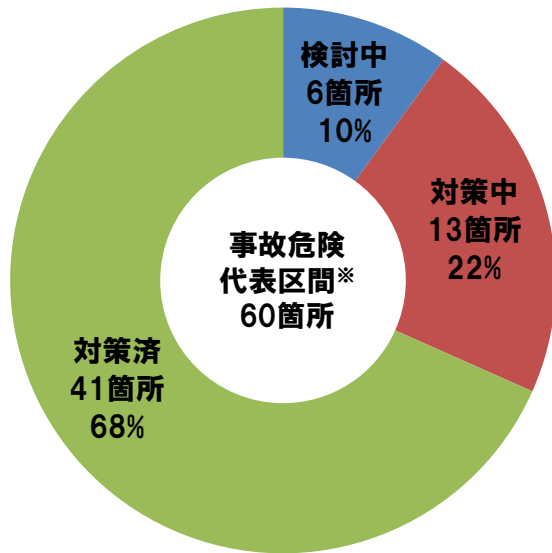
## 事故危険代表区間の対策進捗状況

●事故危険代表区間65箇所(H22選定およびH27選定)のうち、対策完了(卒業)と判定した5箇所を除いた60箇所の事故危険代表区間の対策進捗状況は、**対策済が41箇所(68%)**、**対策中が13箇所(22%)**、**検討中が6箇所(10%)**となっている。

### 対策実施状況

対策実施状況	箇所数
対策済	41箇所
対策中	13箇所
検討中	6箇所
合計	60箇所

平成30年度末時点



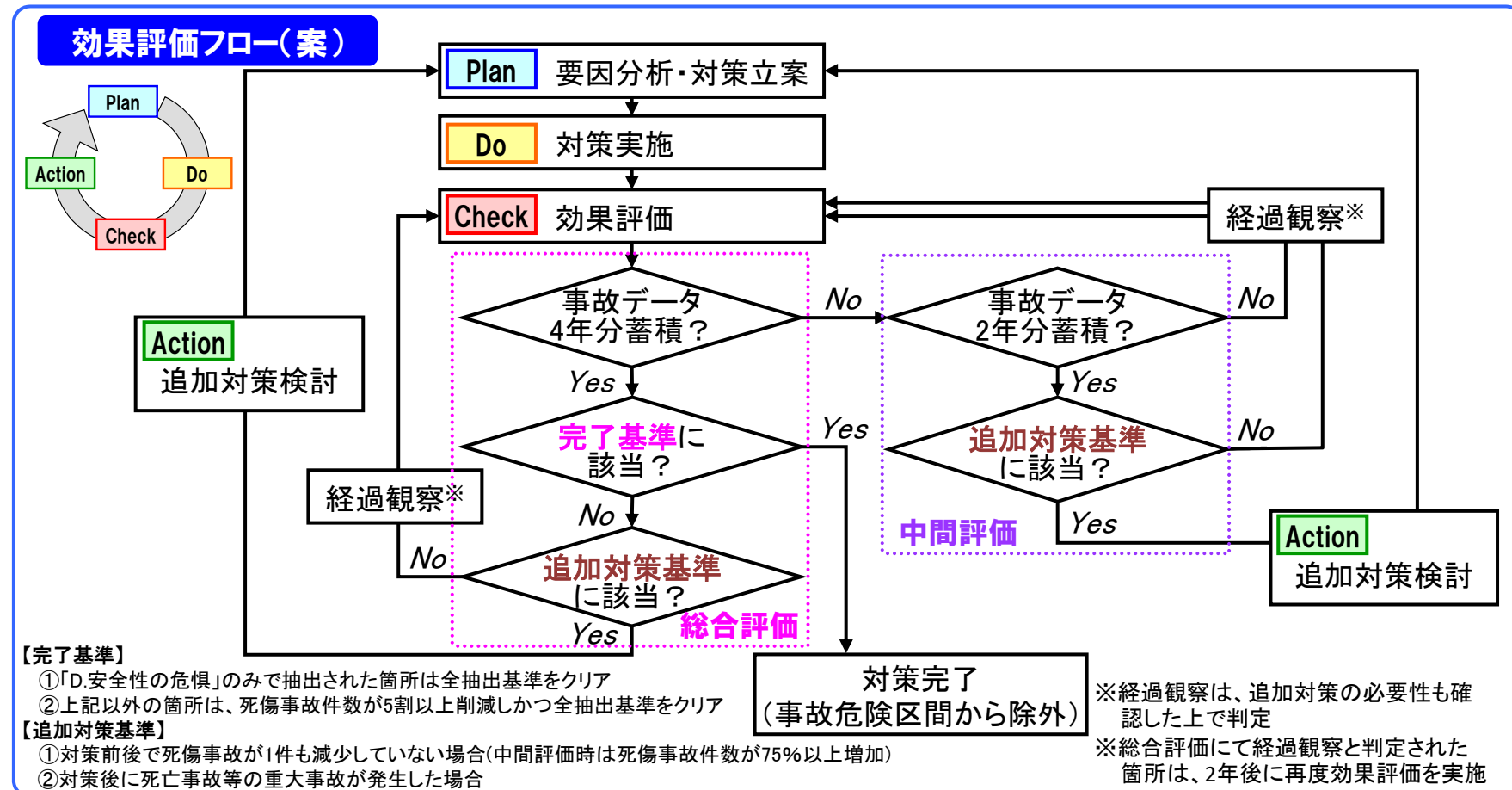
※対策完了と判定した5箇所は除く

番号	路線名 (区間名)	対策実施状況	対策年度	選定理由(指標区分)				管理
				A	B	C	D	
1	国道50号(足利市久保田町交差点)	対策済	H26	●	●	●	●	国
2	一般県道中野御厨線(足利市小菅根町)	対策済	H27	●	●	●	●	国
3	国道50号(佐野市下羽田町交差点)	対策済	H25	●	●	●	●	国
4	主要地方道佐野田沼線(佐野市船木町交差点)	対策済	H25	●	●	●	●	国
5	国道50号(岩舟町岩舟小学校付近交差点)	対策済	H25	●	●	●	●	国
6	主要地方道栃木藤岡線(栃木市川連)	対策済	H25	●	●	●	●	国
7	国道4号(野木町野木)	対策済	H29	●	●	●	●	国
8	国道4号(小山市間々田)	対策中		●	●	●	●	国
9	国道4号(小山市栗原)	対策中		●	●	●	●	国
10	新4号国道(小山市田間)	対策済	H27	●	●	●	●	国
11	国道50号(小山市小山交差点)	対策済	H27	●	●	●	●	国
12	国道50号(小山市駅南6丁目交差点)	対策済	H26	●	●	●	●	国
13	国道50号(小山市横倉新田交差点)	対策済	H27	●	●	●	●	国
14	一般県道小山結城線(小山市駅東通り2丁目)	対策済	H25	●	●	●	●	国
15	国道4号(小山市喜次)	検討中		●	●	●	●	国
16	国道4号(小山市羽川)	対策済	H27	●	●	●	●	国
17	新4号国道(小山市出井北交差点)	対策済	H25	●	●	●	●	国
18	新4号国道(上三川町五分一交差点付近交差点)	対策済	H24	●	●	●	●	国
19	新4号国道(上三川町上蒲生南交差点)	対策済	H25	●	●	●	●	国
20	新4号国道(上三川町磯岡交差点付近交差点)	対策済	H25	●	●	●	●	国
21	国道4号(下野市鞘堂公民館付近交差点)	対策済	H25	●	●	●	●	国
22	国道4号(宇都宮市茂原1丁目)	対策済	H25	●	●	●	●	国
23	国道4号(宇都宮市交塚街道入口交差点~雀宮駅前交差点)	対策中		●	●	●	●	国
24	国道4号(宇都宮市上横田町)	対策中		●	●	●	●	国
25	国道119号(宇都宮市宇都宮北道路入口)	対策済	H26	●	●	●	●	国
26	一般県道鹿沼足尾線(鹿沼市松山町)	対策中		●	●	●	●	国
27	主要地方道宇都宮鹿沼線(鹿沼市千瀬)	対策済	H29	●	●	●	●	国
28	国道123号(益子町七井)	対策済	H26	●	●	●	●	国
29	国道123号(芳賀町西水沼)	対策済	H29	●	●	●	●	国
30	一般県道杉山石末線(高根沢町太田)	対策中		●	●	●	●	国
31	国道119号(日光市大室入口交差点)	対策済	H25	●	●	●	●	国
32	国道293号(那珂川町馬頭)	対策済	H25	●	●	●	●	国
33	一般県道小川大金停車場線(那珂川町小川)	対策済	H26	●	●	●	●	国
34	国道4号(矢板市早川町北交差点)	対策済	H25	●	●	●	●	国
35	国道4号(矢板市中)	対策済	H25	●	●	●	●	国
36	国道4号(那須塩原市三島)	対策済	H27	●	●	●	●	国
37	国道4号(那須塩原市三島北交差点)	対策済	H24	●	●	●	●	国
38	国道4号(那須塩原市大原南)	対策済	H27	●	●	●	●	国
39	国道400号(那須塩原市塩原)	対策中		●	●	●	●	国
40	国道4号(那須町寺子乙)	対策中		●	●	●	●	国
41	一般県道豊原高久線(那須町寺子丙)	対策済	H27	●	●	●	●	国
42	国道4号(那須町寺子丙ほか)	検討中		●	●	●	●	国
43	国道4号(那須町豊原乙)	検討中		●	●	●	●	国
44	国道50号(足利市瑞穂野町交差点)	対策中		●	●	●	●	国
45	国道50号(小山市神島谷東交差点)	対策済	H27	●	●	●	●	国
46	国道50号(小山市小山東交差点)	対策済	H27	●	●	●	●	国
47	国道50号(小山市雨ヶ谷新田地先交差点)	対策済	H27	●	●	●	●	国
48	新4号国道(上三川町磯岡交差点)	対策済	H26	●	●	●	●	国
49	国道4号(大田原市下石上交差点)	対策済	H25	●	●	●	●	国
50	国道121号(宇都宮市北若松原)	対策中		●	●	●	●	国
51	主要地方道宇都宮亀和田栃木線(栃木市昭和町)	対策中		●	●	●	●	国
52	主要地方道佐野野行田線(佐野市(仮)瀬町交差点)	検討中		●	●	●	●	国
53	主要地方道栃木藤岡線(栃木市岩舟町和泉交差点)	検討中		●	●	●	●	国
54	主要地方道栃木小山線(栃木市(仮)河合町交差点)	対策済	H29	●	●	●	●	国
55	主要地方道黒磯黒羽線(那須塩原市住吉町交差点)	対策済	H28	●	●	●	●	国
56	主要地方道足利千代田線(足利市(仮)通交差点)	対策中		●	●	●	●	国
57	主要地方道足利千代田線(足利市朝倉町3丁目交差点)	対策済	H27	●	●	●	●	国
58	主要地方道大田原氏家線(さくら市箱森新田交差点)	対策済	H28	●	●	●	●	国
59	主要地方道真岡那須烏山線(芳賀郡芳賀町)	対策中		●	●	●	●	国
60	栃木県道75号栃木佐野線(栃木市泉町)	検討中		●	●	●	●	国

### 3. (3) 対策実施箇所の効果評価【審議事項】

#### 個別箇所の効果評価フロー

- 個別の対策実施区間については、PDCAサイクルに基づき、対策後に2段階で効果評価を行う。
  - 「総合評価」 対策実施後十分な期間(4年間)が経過した箇所について、対策完了の評価を実施
  - 「中間評価」 総合評価を行うには時間を要するが、重大な事故が発生した場合などに早期に追加対策を講じる必要があることから、短期間(2年間)の事故データをもとに評価を実施。



### 3. (3) 対策実施箇所の効果評価【審議事項】

#### 効果評価結果(総合評価)

##### 【H22事故危険区間】

- 評価対象の38箇所のうち、20箇所に対策効果が認められるため、【対策完了】と判定し、事故危険区間から除外する。
- 8箇所は死傷事故件数の減少が見られないことから、【追加対策】が必要と判定し、今後詳細なデータを確認した上で対策検討を行う。
- 残り10箇所については、引き続き【経過観察】を行っていく。

##### H22事故危険区間 効果評価結果

	【総合評価】		
	国管理	県管理	合計
対策完了	12箇所	8箇所	20箇所
経過観察	10箇所	0箇所	10箇所
追加対策	6箇所	2箇所	8箇所
合計	28箇所	10箇所	38箇所

### 3. (3) 対策実施箇所の効果評価【審議事項】

#### 総合評価結果一覧

No.	道路管理者	路線名	箇所名 (交差点名)	対策完了 年度	抽出指標該当状況				死傷事故件数(件/年)			抽出基準 クリア	判定結果	備考
					A	B	C	D	対策前	対策後	増減率			
1	県	桐生岩舟線	足利市鹿島町(仮)鶴淵カメラ付近交差点	H21	●				3.0	0.8	-75%	○	対策完了	死傷事故件数が5割以上削減され、抽出規準クリア。
2	県	粟宮喜沢線	小山市大字神鳥谷(仮)小山第二中学校入口付近交差点	H23	●		●		1.3	1.5	20%	○	追加対策	死傷事故の減少が見られない
3	国	国道50号	足利市福富町(さくら書店足利店付近)	H25			●		1.8	1.0	-43%	○	経過観察	死傷事故の減少率が小さい。
4	国	国道50号	足利市上洪垂町(すたみな太郎足利店付近)	H25			●		2.8	1.5	-45%	○	経過観察	死傷事故の減少率が小さい。
5	国	国道50号	佐野市下羽田町(下羽田町交差点)	H25		●	●		1.8	1.3	-29%	○	経過観察	死傷事故の減少率が小さい。
6	国	国道50号	栃木市藤岡町太田(大坂屋運送物流センター東付近)	H25			●		2.3	0.3	-89%	○	対策完了	死傷事故件数が5割以上削減され、抽出規準クリア。
7	国	国道50号	下都賀郡岩舟町(岩舟小学校西付近)	H25		●	●		1.0	1.3	25%	○	追加対策	死傷事故の減少が見られない
8	国	国道4号	小山市大字喜沢	H25			●		1.5	1.0	-33%	○	経過観察	死傷事故の減少率が小さい。
9	国	国道4号	河内郡上三川町大字鞆堂(仮)鞆堂公民館付近交差点	H25	●		●		1.0	0.0	-100%	○	対策完了	死傷事故件数が5割以上削減され、抽出規準クリア。
10	国	国道4号	下野市下古山	H25			●		1.8	1.3	-29%	○	経過観察	死傷事故の減少率が小さい。
11	国	国道4号	宇都宮市茂原1丁目	H25		●	●		0.5	0.3	-50%	○	対策完了	死傷事故件数が5割以上削減され、抽出規準クリア。
12	国	国道4号	宇都宮市雀の宮町5丁目511-1(安塚街道入口交差点)	H25	●			●	1.8	1.5	-14%	×	経過観察	死傷事故の減少率が小さい。
13	国	国道4号	宇都宮市築瀬町	H25			●		0.5	0.8	50%	○	追加対策	死傷事故の減少が見られない
14	国	国道4号	宇都宮市元今泉6丁目(芙蓉薬局付近交差点)	H25			●		0.5	0.3	-50%	○	対策完了	死傷事故件数が5割以上削減され、抽出規準クリア。
15	国	国道4号	宇都宮市御幸本町	H25			●		1.5	0.8	-50%	○	対策完了	死傷事故件数が5割以上削減され、抽出規準クリア。
16	国	国道4号	宇都宮市平出工業団地	H25			●		1.3	1.0	-20%	○	経過観察	死傷事故の減少率が小さい。
17	国	国道4号	矢板市東町	H25			●		1.5	1.3	-17%	○	経過観察	死傷事故の減少率が小さい。
18	国	国道4号	那須塩原市井口	H25		●			1.0	1.0	0%	○	追加対策	死傷事故の減少が見られない
19	国	国道4号(バイパス)	小山市大字出井(交差点)	H25			●		0.8	1.5	100%	○	追加対策	死傷事故の減少が見られない

### 3. (3) 対策実施箇所の効果評価【審議事項】

#### 総合評価結果一覧

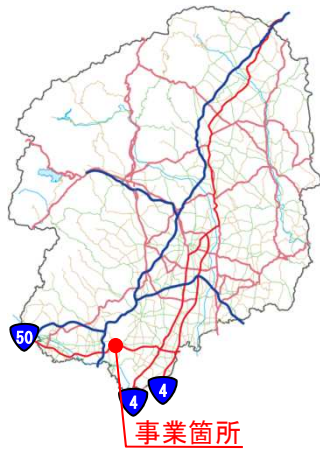
No.	道路管理者	路線名	箇所名 (交差点名)	対策完了 年度	抽出指標該当状況				死傷事故件数(件/年)			抽出基準 クリア	判定結果	備考
					A	B	C	D	対策前	対策後	増減率			
20	国	国道4号(バイパス)	小山市大字出井	H25			●		0.5	0.0	-100%	○	対策完了	死傷事故件数が5割以上削減され、抽出規準クリア。
21	国	国道4号(バイパス)	小山市大字出井(出井北交差点)	H25		●	●		3.3	2.0	-38%	×	経過観察	死傷事故の減少率が小さい。
22	国	国道4号(バイパス)	河内郡上三川町大字上蒲生(上蒲生南交差点)	H25	●		●		3.3	3.0	-8%	×	経過観察	死傷事故の減少率が小さい。
23	国	国道4号(バイパス)	河内郡上三川町大字上蒲生字八丁(仮)日産自動車栃木工場前交差点	H25		●			2.0	2.3	13%	○	追加対策	死傷事故の減少が見られない
24	国	国道4号(バイパス)	河内郡上三川町大字磯岡(交差点)	H25		●	●		1.0	0.0	-100%	○	対策完了	死傷事故件数が5割以上削減され、抽出規準クリア。
25	国	国道4号(バイパス)	宇都宮市平出町(仮)オートアールズ付近交差点	H25			●		1.3	1.5	20%	○	追加対策	死傷事故の減少が見られない
26	国	国道4号	矢板市中	H25		●	●		1.3	0.3	-80%	○	対策完了	死傷事故件数が5割以上削減され、抽出規準クリア。
27	県	国道119号	日光市大沢町890番地(大室入口交差点)	H25				●	1.0	0.0	-100%	○	対策完了	死傷事故件数が7割以上削減され、抽出規準クリア。
28	県	国道293号	那珂川町馬頭2308～2164	H25				●	0.3	0.3	0%	○	対策完了	安全性の危惧のみで選ばれ、抽出規準クリア。
29	県	県道佐野環状線	佐野市植下町	H25			●		0.5	1.0	100%	○	追加対策	死傷事故の減少が見られない
30	県	県道佐野田沼線	佐野市堀米町(堀米町交差点)	H25	●	●	●		3.3	1.5	-54%	○	対策完了	死傷事故件数が5割以上削減され、抽出規準クリア。
31	県	県道小山結城線	小山市駅東通り3丁目(仮)小山駅東通郵便局付近交差点	H25	●	●	●	●	1.3	0.3	-80%	○	対策完了	死傷事故件数が5割以上削減され、抽出規準クリア。
32	県	県道栃木藤岡線	大平町川連90番地～167番地	H25				●	5.0	1.8	-65%	○	対策完了	安全性の危惧のみで選ばれ、抽出規準クリア。
33	県	県道栃木藤岡線	田島工区	H25				●	1.0	0.3	-75%	○	対策完了	死傷事故件数が5割以上削減され、抽出規準クリア。
34	県	県道那須黒羽茂木線	田町工区	H25				●	0.0	0.0	-	○	対策完了	安全性の危惧のみで選ばれ、抽出規準クリア。
35	国	国道50号	田島交差点	H25				●	0.0	0.5	-	○	対策完了	安全性の危惧のみで選ばれ、抽出規準クリア。
36	国	国道50号	下都賀郡岩舟町静(仮)岩舟小学校付近交差点	H25				●	1.0	0.8	-25%	○	対策完了	安全性の危惧のみで選ばれ、抽出規準クリア。
37	国	国道4号	大田原市下石上(下石上交差点)	H25				●	0.8	0.8	0%	○	対策完了	安全性の危惧のみで選ばれ、抽出規準クリア。
38	国	国道4号	那須塩原市西富山(西富山交差点)	H25				●	0.5	1.0	100%	○	対策完了	安全性の危惧のみで選ばれ、抽出規準クリア。



# 3. (3) 対策実施箇所の効果評価【審議事項】

## 対策完了事例 No.6 国道50号 栃木市藤岡町太田(大坂屋運送物流センター東付近)

### 箇所概要



【路線】 国道50号  
 【住所】 栃木市藤岡町太田  
 【交通量】 37,500台/日  
 ※H22道路交通センサス

### 抽出指標

- C.特徴的な区間  
 ⑤夜間事故件数(3件)  
 ⑦高齢者事故件数(3件)  
 ⑧追突事故件数(5件)

※事故件数:H17-H20の合計値

### 対策概要

#### 事故発生状況

・交差点流入部で追突事故・右折時事故が発生

#### 事故発生要因

- ・交差点手前に長い直線区間があり、本線走行車両の走行速度が高い
- ・路面標示の位置・形状が不適切・不明瞭なため、走行軌跡が不安定、対向直進車が確認しづらい

#### 対策方針

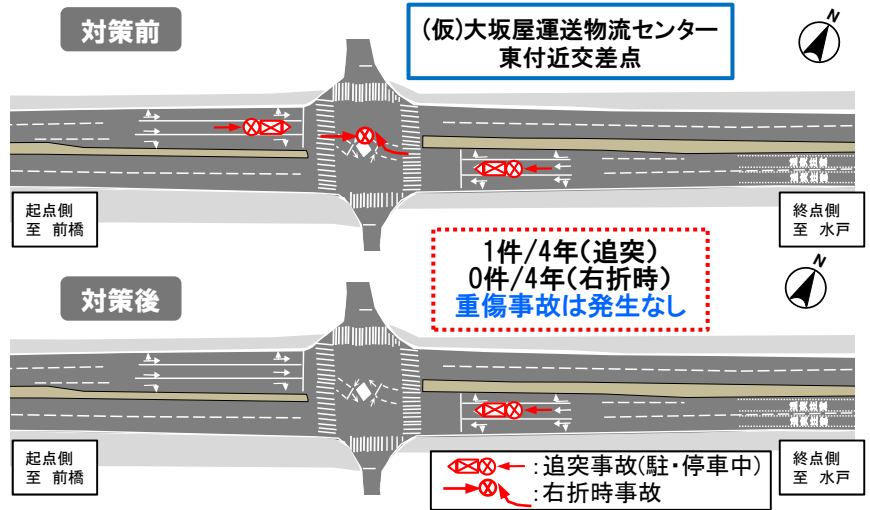
・注意喚起、走行軌道の安定化、視認性の向上

#### 対策内容

・カラー舗装、停止線の前出し

### 事故発生状況

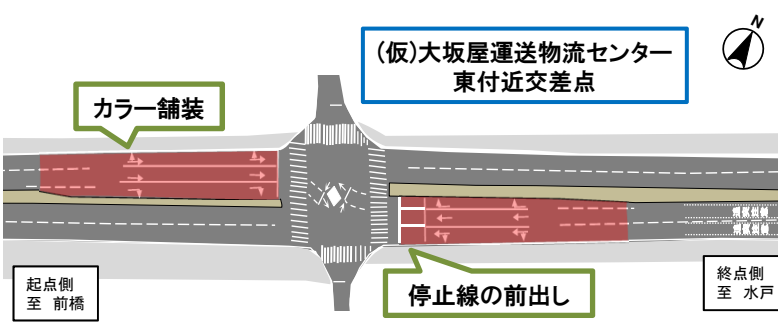
5件/4年(追突)のうち、1件は重傷事故  
 2件/4年(右折時)のうち、1件は重傷事故



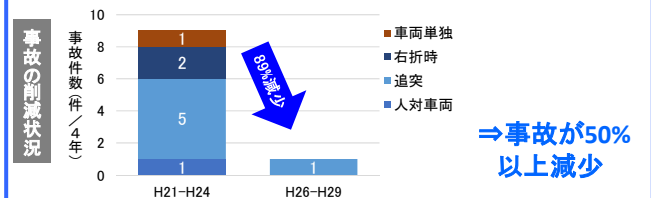
### 対策内容

- ・カラー舗装
- ・停止線の前出し

H25対策



### 効果評価結果



指標該当状況	A.事故多発区間		B.死亡・重傷事故多発区間		C.特徴的な区間	
	死傷事故率	死傷事故件数	死者数	死亡・重傷	夜間	歩行者自転車 高齢者 追突
	○	○	○	○	○	○

⇒抽出基準をクリア

# 3. (3) 対策実施箇所の効果評価【審議事項】

## 追加対策事例 No.19 国道4号(バイパス) 小山市大字出井(交差点)

### 箇所概要



【路線】 国道4号(バイパス)  
 【住所】 小山市大字出井  
 【交通量】 54,839台/日  
 ※H22道路交通センサス

### 抽出指標

- C.特徴的な区間
- ⑤夜間事故件数(3件)
  - ⑥歩行者・自転車事故件数(2件)
  - ⑦高齢者事故件数(3件)

※事故件数:H17-H20の合計値

### 対策概要

#### 事故発生状況

- ・交差点流入部で追突事故が発生

#### 事故発生要因

- ・長い区間にわたり信号がない
- ・交通量が多いため、車群で走行した場合、前方の信号交差点の認知が遅れる

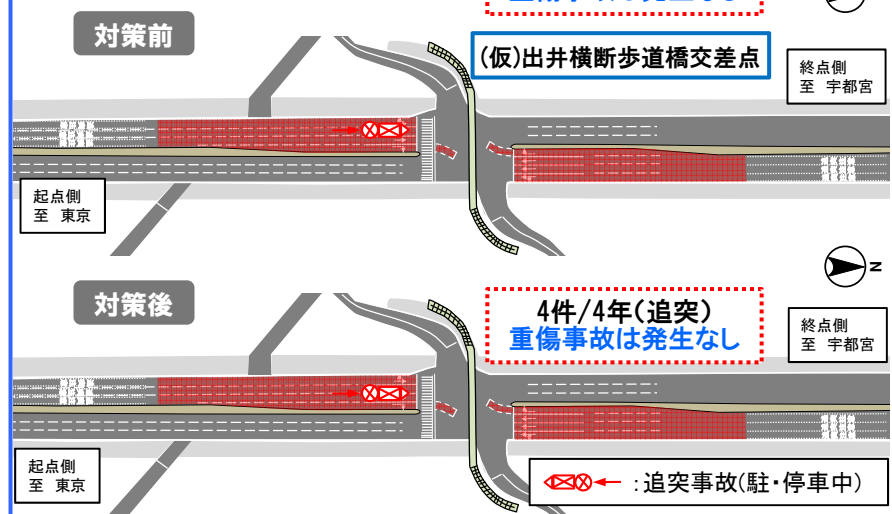
#### 対策方針

- ・速度抑制、注意喚起

#### 対策内容

- ・警戒標識

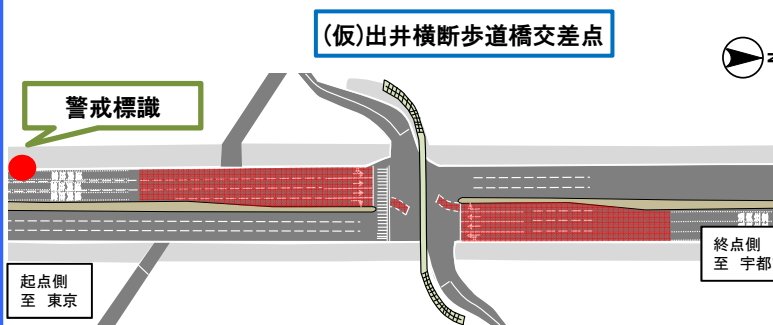
### 事故発生状況



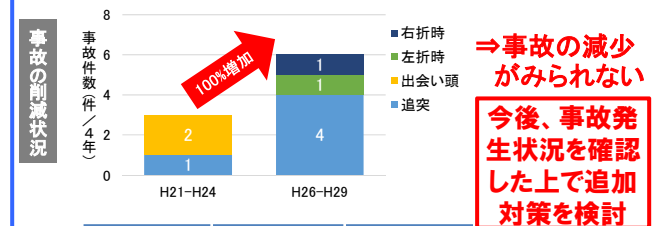
### 対策内容

- ・警戒標識

#### H25対策



### 効果評価結果



指標該当状況	A.事故多発区間		B.死亡・重傷事故多発区間		C.特徴的な区間	
	死傷事故率	死傷事故件数	死者数	死亡・重傷	夜間	歩行者自転車 高齢者 追突
	○	○	○	○	○	○

### 3. (3) 対策実施箇所の効果評価【審議事項】

#### 効果評価結果(中間評価)

##### 【H22事故危険区間】

- 評価対象の33箇所のうち、4箇所は死傷事故件数の増加率が基準を上回ることから、【追加対策】が必要と判定される。残り29箇所については、引き続き【経過観察】を行うこととし、2年後に総合評価を行う。

##### 【H27事故危険区間】

- 評価対象の3箇所のうち、1箇所は死傷事故件数の増加率が基準を上回ることから、【追加対策】が必要と判定される。残り2箇所については、引き続き【経過観察】を行うこととし、2年後に総合評価を行う。

##### H22事故危険区間 効果評価結果

	【中間評価】		
	国管理	県管理	合計
対策完了	—	—	—
経過観察	17箇所	12箇所	29箇所
追加対策	4箇所	0箇所	4箇所
合計	21箇所	12箇所	33箇所

##### H27事故危険区間 効果評価結果

	【中間評価】		
	国管理	県管理	合計
対策完了	—	—	—
経過観察	—	2箇所	2箇所
追加対策	—	1箇所	1箇所
合計	—	3箇所	3箇所

### 3. (3) 対策実施箇所の効果評価【審議事項】

#### 効果評価結果(3) H22事故危険区間 中間評価結果

##### 中間評価結果一覧

※死傷事故件数: 対策前: 対策完了年の前4年間( H23~H26 )の平均値  
 対策後: 対策完了年の翌年から2年間( H28~H29 )の平均値

No.	道路 管理者	路線名	箇所名 (交差点名)	対策完了 年度	抽出指標該当状況				死傷事故件数(件/年)			対策完了後 の死者数	判定結果	備考
					A	B	C	D	対策前	対策後	増減率			
1	国	国道50号	足利市下渋垂町(下渋垂町交差点)	H27			●		2.8	2.0	-27%	0	経過観察	
2	国	国道50号	佐野市高萩町	H27	●	●	●		2.8	1.5	-45%	0	経過観察	
3	国	国道50号	佐野市西浦町	H27	●				0.0	0.0	-	0	経過観察	
4	国	国道50号	小山市神山2丁目(小山交差点)	H27		●	●		1.0	1.5	50%	0	経過観察	
5	国	国道50号	小山市大字横倉新田(横倉新田交差点)	H27			●		1.3	2.5	100%	0	追加対策	死傷事故件数が75%以上増加
6	国	国道50号	小山市大字横倉新田(仮)横倉新田西交差点)	H27			●		2.5	1.0	-60%	0	経過観察	
7	国	国道4号	小山市乙女2丁目(仮)マルマンホームセンター付近交差点)	H27				●	0.0	1.5	-	0	経過観察	事故の増加が見られるものの、地域の声(指標D)のみで抽出
8	国	国道4号	小山市大字羽川字下田(羽川交差点)	H27	●		●	●	1.3	1.0	-20%	0	経過観察	
9	国	国道4号	小山市大字羽川	H27			●	●	0.8	0.0	-100%	0	経過観察	
10	国	国道4号	宇都宮市西原町(西原交差点)	H27			●		0.8	0.5	-33%	0	経過観察	
11	国	国道4号	宇都宮市江曾島町	H27		●			0.0	1.0	-	1	追加対策	死亡事故発生、死傷事故件数増加
12	国	国道4号	さくら市氏家	H27		●			0.3	0.5	100%	0	追加対策	死傷事故件数が75%以上増加
13	国	国道4号	矢板市東町	H27			●		0.3	1.0	300%	0	追加対策	死傷事故件数が75%以上増加
14	国	国道4号	那須塩原市大原間	H27				●	0.5	1.0	100%	0	経過観察	事故の増加が見られるものの、地域の声(指標D)のみで抽出
15	国	国道4号(バイパス)	小山市大字田間	H27			●		0.5	0.0	-100%	0	経過観察	

### 3. (3) 対策実施箇所の効果評価【審議事項】

#### 中間評価結果一覧

※死傷事故件数: 対策前: 対策完了年の前4年間 (H23~H26) の平均値  
 対策後: 対策完了年の翌年から2年間 (H28~H29) の平均値

No.	道路 管理者	路線名	箇所名 (交差点名)	対策完了 年度	抽出指標該当状況				死傷事故件数(件/年)			対策完了後 の死者数	判定結果	備考
					A	B	C	D	対策前	対策後	増減率			
16	国	国道4号(バイパス)	下野市下坪山(西坪山工業団地入口交差点)	H27			●		2.5	2.5	0%	0	経過観察	
17	国	国道4号(バイパス)	河内郡上三川町大字上三川(交差点)	H27	●	●			0.5	0.0	-100%	0	経過観察	
18	国	国道50号	小山市大字横倉新田	H27		●	●		0.3	0.0	-100%	0	経過観察	
19	県	国道123号	芳賀郡益子町大字大沢	H27				●	0.5	1.0	100%	0	経過観察	事故の増加が見られるものの、地域の声(指標D)のみで抽出
20	県	県道宇都宮真岡線	宇都宮市下栗町	H27			●		0.8	0.0	-100%	0	経過観察	
21	県	県道境間々田線	平和踏切	H27				●	0.0	0.0	-	0	経過観察	
22	県	県道笹原二宮線	下野市薬師寺	H27			●		0.8	0.0	-100%	0	経過観察	
23	県	県道足利千代田線	足利市通2丁目(仮)中橋北交差点	H27	●		●		1.8	3.0	71%	0	経過観察	
24	県	県道足利太田線	足利市南大町(仮)足利南大町郵便局付近交差点	H27	●				0.0	0.0	-	0	経過観察	
25	県	県道足利邑楽行田線	筑波小前工区	H27				●	0.8	0.5	-33%	0	経過観察	
26	県	県道豊原高久線	黒田原工区	H27				●	0.0	0.5	-	0	経過観察	事故の増加が見られるものの、地域の声(指標D)のみで抽出
27	県	県道東小屋黒羽線	蜂巣工区	H27				●	0.0	0.0	-	0	経過観察	
28	県	県道栃木栗野線	深沢工区	H27				●	0.0	0.5	-	0	経過観察	事故の増加が見られるものの、地域の声(指標D)のみで抽出
29	県	県道栃木藤岡線	栃木市大平町川連(栃木南高校入口交差点)	H27	●	●			0.0	0.0	-	0	経過観察	
30	県	県道矢板那須線	矢板市木幡(仮)矢板警察署付近交差点	H27	●				0.0	0.0	-	0	経過観察	
31	国	国道50号	小山市大字神鳥谷(神鳥谷東交差点)	H27				●	0.0	0.0	-	0	経過観察	
32	国	国道50号	小山市駅南町2丁目(小山東交差点)	H27				●	1.0	3.5	250%	0	経過観察	事故の増加が見られるものの、地域の声(指標D)のみで抽出
33	国	国道50号	小山市雨ヶ谷新田(横倉新田交差点付近交差点)	H27				●	2.3	0.5	-78%	0	経過観察	

### 3. (3) 対策実施箇所の効果評価【審議事項】

#### 効果評価結果(3) H27事故危険区間 中間評価結果

##### 中間評価結果一覧

※死傷事故件数:対策前:対策完了年の前4年間(H23~H26)の平均値  
 対策後:対策完了年の翌年から2年間(H28~H29)の平均値

No.	道路 管理者	路線名	箇所名 (交差点名)	対策完了 年度	抽出指標該当状況				死傷事故件数(件/年)			対策完了後 の死者数	判定結果	備考
					A	B	C	D	対策前	対策後	増減率			
1	県	県道足利千代田線	足利市朝倉町	H27	●		●		1.3	0.0	-100%	0	経過観察	
2	県	県道借宿八幡線	足利市堀込町	H27	●		●		2.3	1.0	-56%	0	経過観察	
3	県	県道大田原高林線	大田原市山の手	H27	●				0.8	1.5	100%	0	追加対策	死傷事故件数が75%以上増加

---

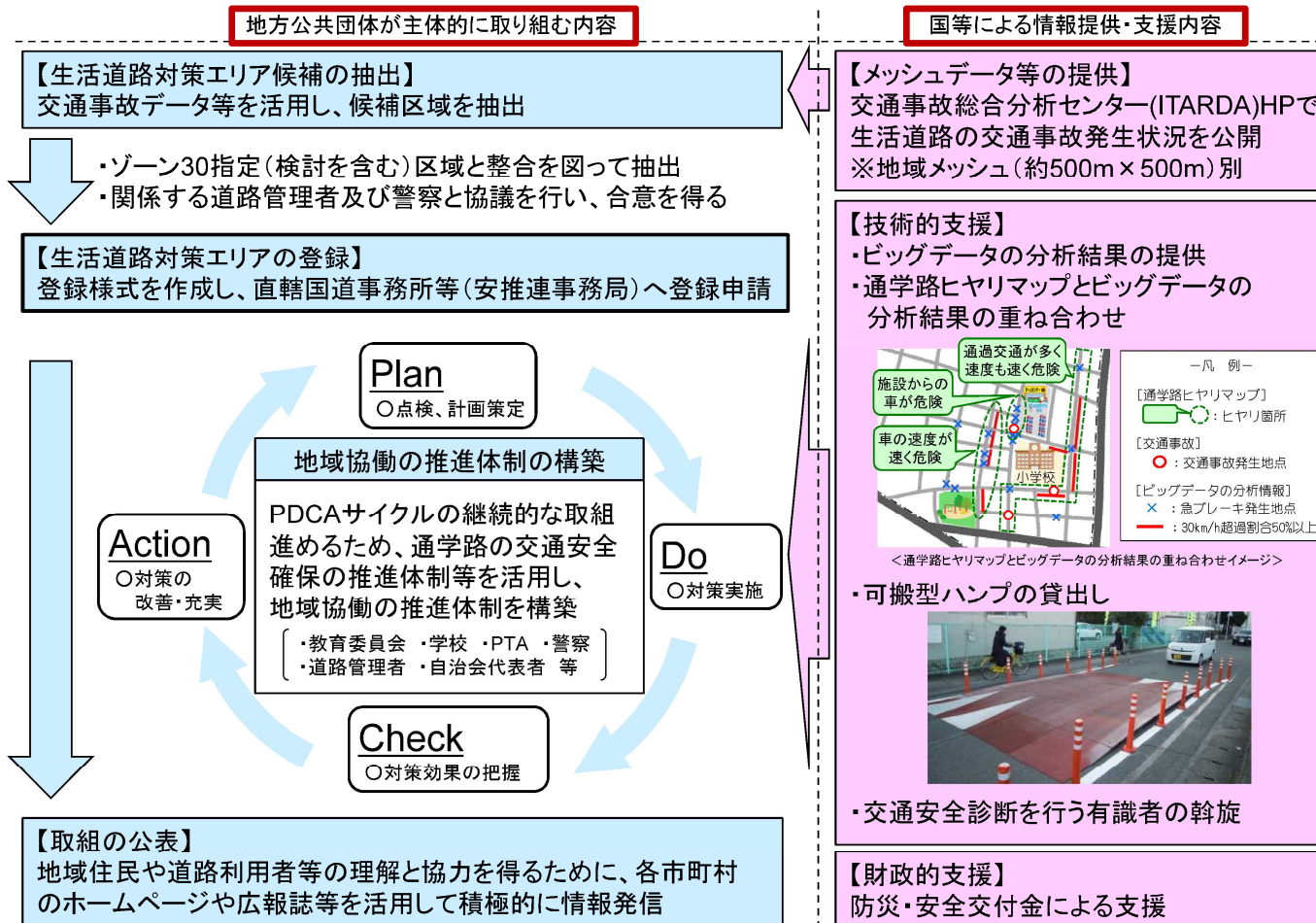
## 4. 【情報提供】生活道路対策エリアの登録について

---

# 4. 【情報提供】生活道路対策エリアの登録について

## 生活道路対策エリアの取組フロー

●国等は、下記のフローに従い、生活道路の安全対策は地方公共団体が主体的に取り組むとの役割分担の下、情報提供・支援を実施。





## 4. 【情報提供】生活道路対策エリアの登録について

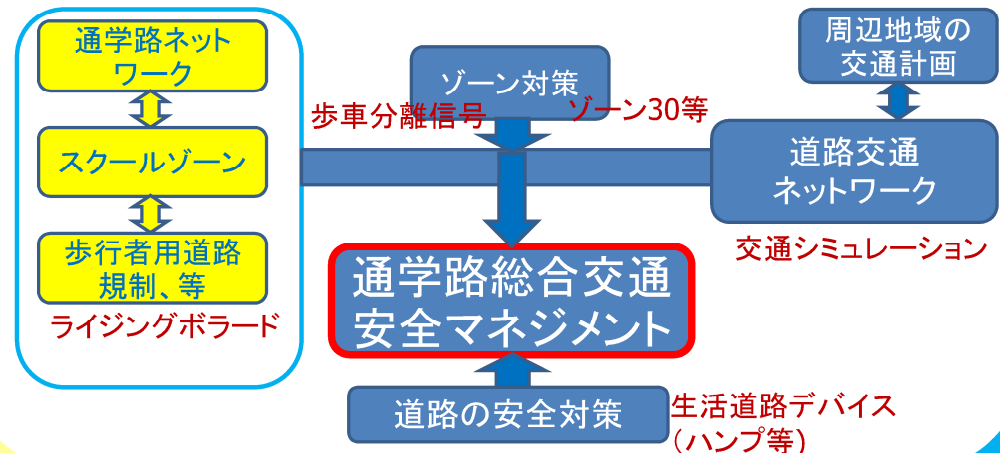
### 地方自治体が構築する地域協同の生活道路安全対策推進体制の例

- 「通学路総合交通安全マネジメント」により、通学路の効率的・効果的な対策の実現のために、学校関係者、警察署、道路管理者(地方自治体)が連携してWS等を行い、最新の交通安全対策と交通規制を組み合わせ、周辺地域と合わせた対策を検討。

### 通学路総合交通安全マネジメント

ポイント

- ・通学路＋スクールゾーン＋交通規制の有機的連携
- ・周辺地域の交通計画の一環として検討
- ・周辺道路の交通ネットワークの中での検討
- ・最新デバイスの活用(ライジングボラード、生活道路デバイス)
- ・道路管理者、警察、学校の連携



道路管理者＋警察＋学校関係者＋地元住民の連携によるWS 59

「生活道路交通安全フォーラム」基調講演資料 埼玉大学大学院 久保田尚教授

## 4. 【情報提供】生活道路対策エリアの登録について

### 生活道路対策エリアの登録状況

- 栃木県内では、生活道路対策エリアとして平成27年度に2箇所(宇都宮市峰地区、陽東地区)を登録。
- 更なる生活道路の安全性向上を図るため、令和元年度、新たに179箇所の追加登録を行った。
- 今年度は、生活道路対策エリアの登録を行った自治体に対し、エリアに関わる道路区間の事故発生位置、急制動発生位置、30km/h超過率のビックデータ分析結果資料の提供などの技術的支援を行う。

[生活道路対策エリア(合計181地区)]

市区町村名	地区数	市区町村名	地区数
宇都宮市	15	小山市	10
足利市	8	日光市	8
鹿沼市	16	野木町	3
大田原市	9	佐野市	12
矢板市	8	上三川町	7
那須塩原市	11	益子町	3
さくら市	3	下野市	9
那須烏山市	2	市貝町	3
塩谷町	3	壬生町	7
高根沢町	6	芳賀町	3
那須町	2	茂木町	5
那珂川町	2	栃木市	16
小山市	10	合計	181

[道路区間の30km/h超過率の例]



[道路区間の急制動発生率の例]



国土交通省道路局webサイト「主な施策 効果的・効率的な安全対策の推進」から

---

## 5. 【情報提供】未就学児が日常的に集団で 移動する経路等の交通安全の確保

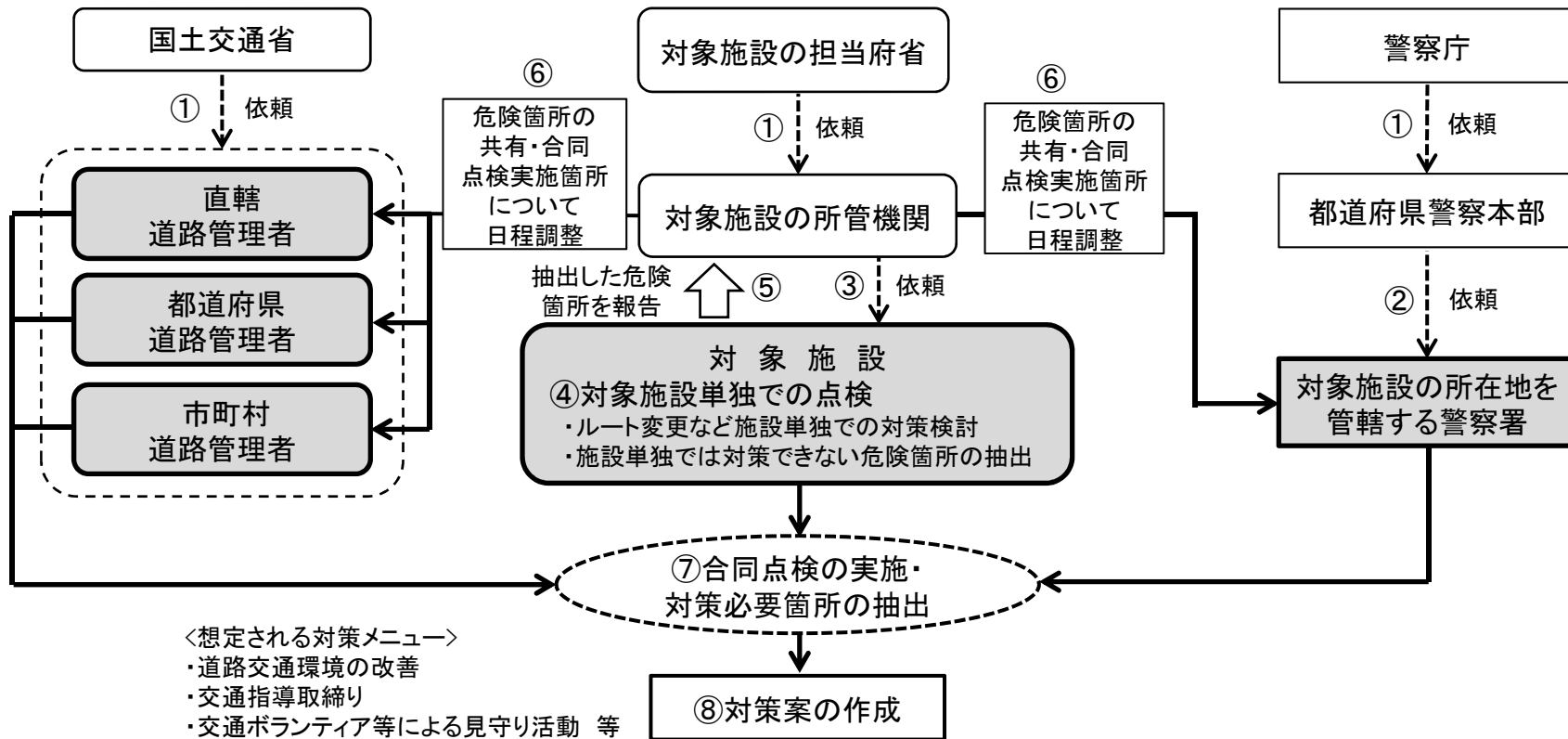
---

## 5. 【情報提供】未就学児が日常的に集団で移動する経路等の交通安全の確保

### 緊急安全点検等の実施概要

- 未就学児を中心に子どもが日常的に集団で移動する経路の安全を確保するため、保育所、幼稚園、認定こども園等の施設(以下、「対象施設」という。)や「所管機関」、「地域の道路管理者」、「警察」が連携して、令和元年8月から緊急安全点検を実施。

### 緊急安全点検等の実施内容



## 5. 【情報提供】未就学児が日常的に集団で移動する経路等の交通安全の確保

### 道路管理者による対策が必要な箇所

- 緊急安全点検の結果、道路管理者による対策が必要な箇所として、直轄国道で4箇所、補助国道・県道等で119箇所、市道・町道等で192箇所の合計315箇所を抽出

### 道路管理者による対策が必要な箇所の抽出結果

対象 施設数	緊急安全 点検を実施 した施設数	緊急安全 点検を実施 した箇所数	緊急安全点検の結果、道路管理者による 対策が必要な箇所数			
			道路種別			合計
			直轄国道	補助国道 県道等	市道 町道等	
916箇所	238施設	623箇所	4箇所	119箇所	192箇所	315箇所

※集計過程の値であり、確定までに変更の可能性がある

## 5. 【情報提供】未就学児が日常的に集団で移動する経路等の交通安全の確保

### 点検概要と対策案

- 緊急安全点検の結果により、道路管理者による対策が必要と判断された箇所については、関係機関と連携のうえ、必要な対策を実施していく予定

### 点検概要と対策案

#### 【概要】

##### 《点検概要》

点検日：令和1年8月8日(木)  
交通量：12,232台/日(国道4号)

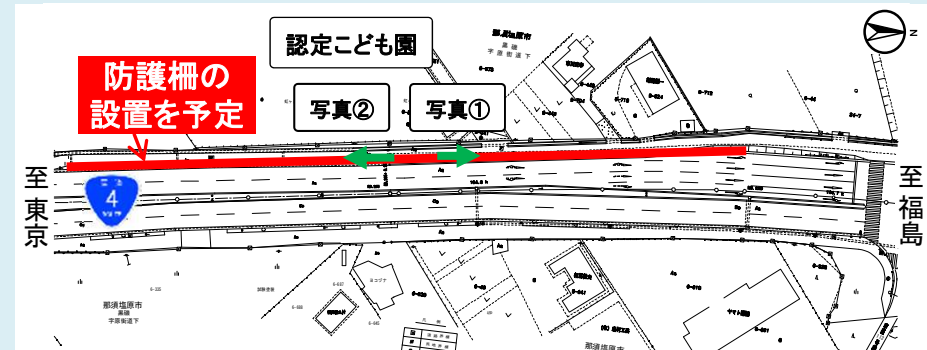
##### 《緊急点検実施機関》

認定こども園、那須塩原市、栃木県那須塩原警察署、  
宇都宮国道事務所

#### 【対象箇所位置図】



#### 【点検状況と対策案】





## 6. 今後の事故対策実施方針

### 今回会議のまとめと次回会議に向けての実施方針

栃木県内の事故発生状況	事故ゼロプラン対策実施箇所の効果評価
<b>今回会議</b> <ul style="list-style-type: none"><li>■ 死傷事故件数は減少傾向</li><li>■ 人口10万人あたりの死者数は全国ワースト5位</li><li>■ コロナ禍による安全性の変化</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 対策完了箇所について事故危険区間からの除外の審議</li></ul>
<b>今後の流れ</b> <ul style="list-style-type: none"><li>■ 新たな問題箇所や問題が解消された箇所の確認、今後の取扱い方針の決定</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 新たな事故データや現地状況や関係機関への照会を踏まえた対策完了判断の最終決定</li></ul>
<b>次回会議</b> <ul style="list-style-type: none"><li>■ 新たな問題箇所の事故危険区間への追加審議</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 対策完了箇所について事故危険区間からの除外の審議</li></ul>